

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有一選

一番に子どもを抱いてと孫は言う その一言に生きる喜び
寺迫 西坂ヨシ子
屋根叩く激しい雨に猫すくむ 遊んであげる
こっちへおいで
赤井 鈴木 駒
花少なき庭巡りゆきささやかな草花摘みて手
安永 守住 孝子
向け花とす

どくだみの白く小さな花びらが皆抜かれてる
梅雨の晴れ間に
小谷 今吉マキ子
満々と水を湛えた耕作地吹き渡る風心を癒やす
安永 福田 圭子
阿蘇谷に弧をなし架かる七色の鮮やかな色し
ばし仰げり
安永 山下たか子
湯上がり家族揃って花火見る浴衣に替えた
妻は艶やか
赤井 増岡 伸禧
亡き妻が丹精込めた庭のバラ 一輪摘みてしのぶこの夏
馬水 西田 正巳
舞い納め筆筒に残る着物たちリメイクをして
お洒落着になる
広崎 瀬戸サイ子
ぼこぼここと傷んだ道が残ってる恐怖の夜から
二年が過ぎた
宮園 金子フム子
この夏は猛暑大雨山崩れ 災害つづく地球の
悲鳴
宮園 島 みつき

お願い 投稿は、一人一首でお願いします。

俳句

河野 全平 選

「ただいま」と氷ほおぼり孫娘
病床や目に焼き付けむ孫の顔
まだ更地なれどコスモス咲きいずる
夏祭り冷や汗三斗きもだめし
炎天に負けじと老のピアノ弾き
梅雨晴れの仮設に別れ惜しみけり
文月のわが子の還暦祝いけり
荒梅雨に烟る碑の丘仰ぎけり
二句鑑賞
八月や六日九日十五日
帰る雁みたか日本のうらおもて
詠み人 不詳
吉川 英治
川柳
布田川左門 選

『お題』 みどり(緑)

みどり川釣り師の竿にアユ跳ねる
ゴルフ下手グリーンのせいにしてしまう
新緑に染まる笑顔や飯田山
小谷 まさのり
永瀬 美波
平田の老女

※参考例

みどり亀増えすぎ在来おびやかす

『お題』 自由詠

長梅雨に神経痛がうめきだす
依存症妻の稼ぎが命綱
事故防止に低速道も一車線
赤井のすずめ
小谷 まさのり
赤井 すいすい

※参考例

野党脆弱これが日本のアキレス腱

川柳のお題 「大賀ハス」または自由詠

益城の文化財 町文化財保護委員会



広 崎

ひろさきかぐらしゃ 広崎神楽社の復元

平成28年熊本地震では、益城町の有名な文化財だけでなく、地域住民に親しまれてきた小さな神社等も大きな被害を受けました。広崎神楽社もその中のひとつで、本殿は傾き、拜殿・鳥居等は倒壊し、元の姿は失われました。地震発生から5か月を過ぎた頃、木山神宮の宮司から解体の話があり、広島厳島神社からボランティアで8人の宮司が来られて解体作業を行っていただきました。半年を迎えた頃には、神楽社宮総代から再建についての相談があり、氏子7組の座元を集めて再建のための建設委員会を立ち上げ、全体会議により広崎神楽社は再建することが決定しました。しかし、これら神社建築を再建するには専門的知識が必要であるとともに、多額の再建費用が最大の課題となりました。